

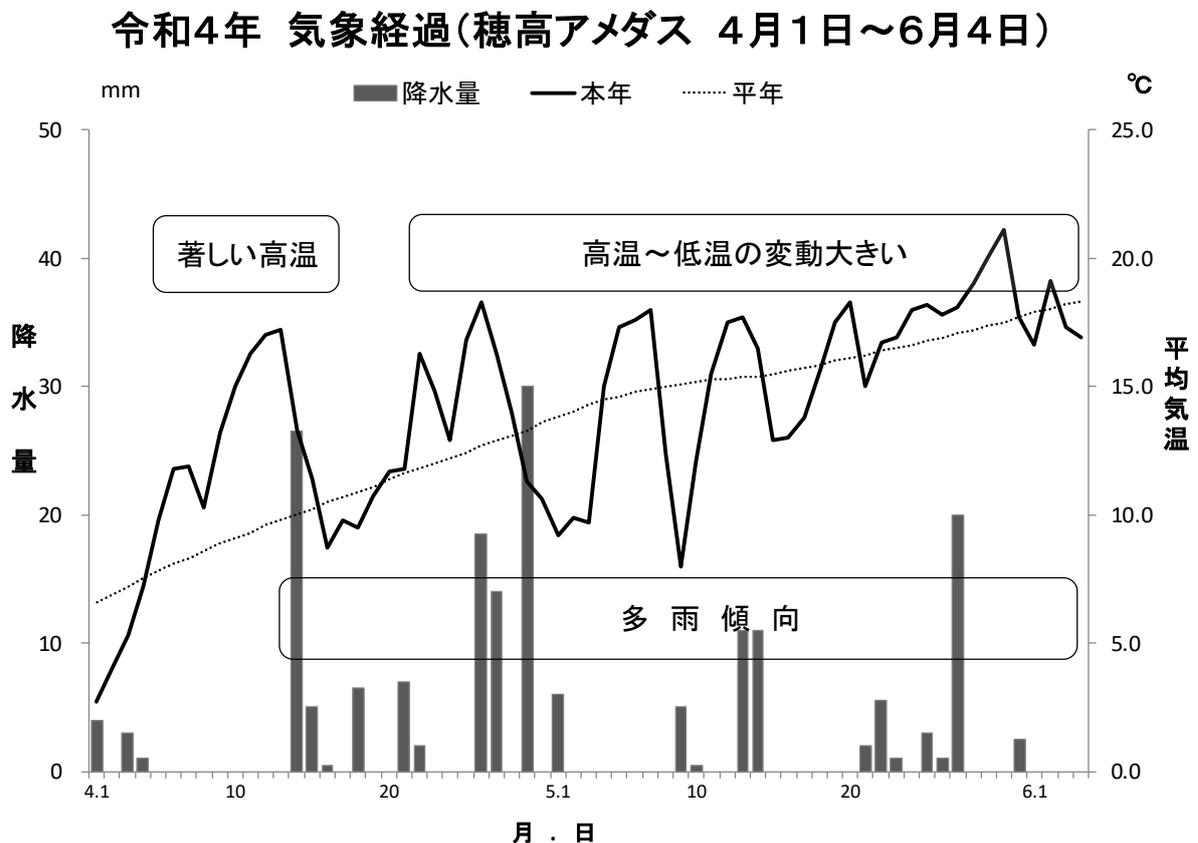
令和4年 作物技術普及情報 第9号

(麦の生育状況・成熟期予測・水稻の管理作業について)

1 気象状況

5月は高温～低温の変動の大きい状況でした。また雨の日が多く、5月中旬は日照時間も少ない状況でした。6月6日に梅雨入りしたと発表されました。

今後、6月中旬までの気温は平年よりやや低いと予想されています。



2 麦の生育状況

- 6月6日現在、生育の良好な圃場の現在の生育ステージは、以下の通りです。

【大 麦】 成熟期直前～収穫期
【小 麦】 登熟中期

大小麦ともに出穂ムラの大きい圃場が目立ちます。大麦は降雨の影響で、穂数が多い圃場や施肥ムラのある圃場等で倒伏が目立っています。小麦も降雨の影響で倒伏がはじまった圃場もあります。

- 大麦は収穫時期を迎えています。小麦は6月20日ころから成熟・収穫を迎えると予想されますが、低温や倒伏の影響で予想より遅れそうです。

6月4日現在の積算気温による成熟期の推定では、以下が予想されています。

大麦	出穂期	4月20日前後	成熟期	6月	2～5日頃
		4月25日前後		6月	6～8日頃
		4月30日前後		6月	9～12日頃
小麦	出穂期	5月1日前後	成熟期	6月	20～23日頃
		5月5日前後		6月	23～25日頃
		5月10日前後		6月	26～28日頃

- 出穂ムラが目立つ圃場が多いことや、大麦では倒伏圃場が目立つこと、小麦も倒伏の始まった圃場もあることから、今年も収穫時期の判断が非常に難しい年になると思われます。

圃場の生育状況にご注意いただき、収穫の目合わせの回数を増やす等、適期収穫に向けた取り組みをお願いいたします。

- 麦の品質維持のため、出穂のばらつきが大きい圃場や倒伏圃場は別刈りとしたり、RCでは別荷受けにする等の対応をお願いします。

- 昨年同様、収穫や乾燥調整が大変な年になりそうですが、生育状況に対応した収穫・乾燥調整で良質な大小麦が生産できるようお願いいたします。
- 畔回りにカラスノエンドウの多い圃場が散見されます。カラスノエンドウの種子が麦に混入してクレームとなる事があるので、収穫前の畦畔の草刈りの徹底をお願いします。

【参考】 登熟積算気温による大・小麦の成熟期の推定(6月5日現在)

成熟期までの積算気温を大麦は650~700℃、小麦は850~900℃として推定しています。
平均気温は穂高アメダス値です。6月4日までは本年値、以降は平年値を用いています。

月 日	平均気温	大 麦				小 麦			
		4月20日出穂圃場							
4月20日	11.7								
4月21日	11.8	12							
4月22日	16.3	28							
4月23日	14.8	43							
4月24日	12.9	56							
4月25日	16.8	73	4月25日出穂圃場						
4月26日	18.3	91	18						
4月27日	16.3	107	35						
4月28日	14.0	121	49						
4月29日	11.3	133	60						
4月30日	10.6	143	71	4月30日出穂圃場					
5月1日	9.2	152	80	9	5月1日出穂圃場				
5月2日	9.9	162	90	19	10				
5月3日	9.7	172	99	29	20				
5月4日	15.0	187	114	44	35				
5月5日	17.3	204	132	61	52	5月5日出穂圃場			
5月6日	17.6	222	149	79	70	18			
5月7日	18.0	240	167	97	88	36			
5月8日	12.4	252	180	109	100	48			
5月9日	8.0	260	188	117	108	56			
5月10日	12.1	272	200	129	120	68	5月10日出穂圃場		
5月11日	15.5	288	215	145	136	84	16		
6月1日	16.6	成 646	573	503	494	442		374	
6月2日	19.1	成 665	592	522	513	461		393	
6月3日	17.3	成 682	610	539	530	478		410	
6月4日	16.9	成 699	627	556	547	495		427	
6月5日	18.5	成 718	645	575	565	513		445	
6月6日	18.6	成 736	664	593	584	532		464	
6月7日	18.8	成 755	682	612	603	551		483	
6月8日	18.9	成 774	701	631	622	570		502	
6月9日	19.0	成 793	720	650	641	589		521	
6月10日	19.1	成 812	739	669	660	608		540	
6月11日	19.2	成 831	759	688	679	627		559	
6月12日	19.4	成 851	778	708	698	646		578	
6月13日	19.5	成 870	798	727	718	666		598	
6月14日	19.6	成 890	817	747	737	686		617	
6月15日	19.7				757	705		637	
6月16日	19.8				777	725		657	
6月17日	19.9				797	745		677	
6月18日	20.0				817	765		697	
6月19日	20.1				837	785		717	
6月20日	20.2				成 857	805		737	
6月21日	20.3				成 877	826		757	
6月22日	20.4				成 898	846		778	
6月23日	20.5				成 918	成 866		798	
6月24日	20.6				成 939	成 887		819	
6月25日	20.8				成 960	成 908		840	
6月26日	20.9				成 981	成 929	成	861	
6月27日	21.0				成 1002	成 950	成	882	
6月28日	21.1				成 1023	成 971	成	903	
6月29日	21.3				成 1044	成 992	成	924	
6月30日	21.4				成 1065	成 1014	成	945	

3 麦の赤かび病について

- 大麦では出穂期、小麦では開花期前半に感染しやすい条件に遭遇しており注意が必要な状況ですが、5月末現在 支援センターの調査では発生は認められていません。
- しかし赤かび病の感染リスクは低いものの、「降水時間は短く、降水時間中の気温も低い」条件が、5月下旬以降に頻発しているため、今後も注意が必要と思われます。

収穫間際までは圃場を巡回していただき、発生の有無の確認をお願いします。

6月5日現在 赤かび病感染リスクの判定 (平22技術情報より作成)

月日	連続 降水時間	降水期間 中の平均 気温	感染 リスク	生育ステージ	
				大麦	小麦
4月20日				出穂 ～ 穂揃期	
4月21日	7	10.9	なし		
4月22日					
4月23日					
4月24日					
4月25日					
4月26日	17	18.6	注意		
4月27日					
4月28日				開花期	
4月29日	8	10.3	なし		
4月30日					
5月1日	7	9.8	なし		
5月2日					
5月3日					
5月4日					
5月5日				出穂 ～ 穂揃期	
5月6日					
5月7日					
5月8日					
5月9日	4	8.3	なし		
5月10日	1	5.0	なし		
5月11日					
5月12日				開花期	
5月13日	1	15.5	なし		
5月14日	15	17.0	注意		
5月15日					
5月16日					
5月17日					
5月18日					
5月19日					
5月20日					
5月21日	2	14.5	なし		
5月22日	6	12.8	なし		
5月23日	4	13.0	なし		
5月24日					
5月25日	2	17.4	なし		
5月26日					
5月27日	10	15.1	なし		
5月28日					
5月29日					
5月30日					
5月31日	5	14.7	なし		
6月1日					
6月2日					
6月3日					
6月4日					

3 水稻の管理作業について

- 表層剥離やガスわきが発生している圃場は、根の活力低下や根張りが不良になるので、1日程度の落水短期や水の入れかえを行い、土壌へ酸素を供給し、根の健全化を図りながら、中干しに移行してください。
- 中干については、別添「中干しの徹底で品質の良い米づくりを図りましょう」をご参考いただき、生育にあった中干しをお願いします。

特に5月上旬までに田植えされた圃場は、生育が進んで分けつ過剰になる恐れがあるため注意が必要です。

- 雑草の発生の目立つ圃場が散見されます。ヒエやホタルイは葉令が進んでから気づく場合が多いので、今一度圃場の状況を確認し、残草状況によっては、後期剤の対応をお願いします。
- D V Iによる生育予測は次回から提供予定です